



町サステナブルアワード2025 ゴールド認定企業を紹介

町サステナブルアワード2025を1月28日、町公民館で実施しました。町はSDGsの理念に基づき活動する企業・団体などを応援する「町SDGsパートナーシップ制度」を設けており、その一環でESG評価を用いて非財務的な価値となる「社会への貢献度合い」を指標化し、その貢献度で優秀な企業を表彰しました。



アワードの結果
詳細はこちら

E 環境	燃料の使用料、廃棄物の排出量などによる気候変動・エネルギー・環境管理に関する指標	S 社会	人的資本・労働者の権利に関する指標	G ガバナンス	リスク管理・取締役会に関する指標
----------------	--	----------------	-------------------	-------------------	------------------

ゴールド認定企業一覧 (部門ごとに50音順)

ESG 総合部門	信幸プロテック株式会社
	有限会社盛南輸送
	百万石建設株式会社
E 環境部門	岩手農蚕株式会社
	信幸プロテック株式会社
	有限会社盛南輸送
	株式会社東和本社
S 社会部門	社会福祉法人睦喜会
	北日本製袋株式会社
	信幸プロテック株式会社
	有限会社盛南輸送
	株式会社美宗
	百万石建設株式会社
	株式会社藤村商会



ゴールド認定企業の代表者らと岩手銀行の菅原和宏常務執行役員（右から2人目）、高橋町長（同3人目）、サステナブル・ラボの平瀬鎌司CEO（同4人目）



徳田小児童がまちづくりへ提案 町長と矢巾の未来を語る会

町内小中学校で高橋町長が、児童生徒と意見交換などを行う「町長と『矢巾の未来』を語る会」が1月27日、徳田小で行われました。6年生21人が4グループに分かれて、それぞれ福祉・地域・環境・生活の各分野について調査し、それを基とした取り組みのアイデアを披露。本町の事業とSDGsとの関係性を踏まえ、各グループで練り上げた考えを堂々と披露しました。



町商工会青年部 恒例の節分・豆まき事業

町商工会青年部による恒例の豆まき事業は2月3日、町内のこども園など12施設で行われました。鬼の格好をした青年部員が各施設を訪問。駅東1丁目の未来保育園では、鬼の面や衣装などを身に付けた園児たちが、豆がわりのボールを持って応戦しました。はじめは泣き叫び怖がっていた園児も、終盤には何とかボールを投げつけて鬼を撃退。最後は鬼から落花生のプレゼントや、写真撮影などの交流が行われました。



矢巾町冬イベント・奇祭スミつけ祭り



町冬イベントとスミつけ祭りは2月7日、町営キャンプ場で行われました。会場にはキッチンカーが多数出店し、イルミネーションも施された中で、来場者は手持ち花火を楽しむミニ花火大会や餅まき、スミつけに参加して矢巾の冬の風物詩を楽しみました。

スミつけ祭りは城内地区に四百数十年前から伝わる奇祭で、昨年から会場を変更しました。町内外から約700人が来場。軍手をした手にお焚き上げ後の消し炭を付け、参加者らは一緒に来場した家族、友人、あるいは初めて会った人同士で塗り合い、1年の無病息災や災難消除を願いました。



ローレンさんが来庁 フリモント事業などで懇談

米国フリモント町在住で、本町との友好都市締結や現在の交流事業に携わっているローレン・エドワードさんが2月10日、高橋町長を表敬訪問しました。

ローレンさんは友好都市のシンボルマークが施されたタオル(写真)をお土産に持参。友好都市30周年となった今年度の派遣事業などを振り返りながら、高橋町長、廣田清実町議会議員、岡田秀二教育長らと懇談しました。



後輩たちへ海外での経験伝える 町内小学校で出前授業

昨年10月～11月に本町の友好都市・米国フリモント町を訪問した中学生による、町内小学校での出前授業が1月下旬から2月上旬にかけて行われました。町国際交流協会が、訪問団による経験を子どもたちに伝え、海外への興味を高めたり、学びのきっかけにしておらおうと初めて開催。2月3日は煙山小で出前授業が行われ、矢巾中2年の及川蒼生さん(写真)と柏崎奈々さんが、6年生に体験談を発表しました。



全国レベルの学生から学ぶ 富士大硬式野球部によるスポ少向け教室

富士大硬式野球部による、町内野球スポーツ少年団向けの野球教室は2月14日、矢巾中体育館で行われました。同部所属の6人が町内の白沢ベアーズ、西徳田ブルーウィングスの2チームから参加した29人を指導。参加者は、プロ野球選手を多く輩出し、全国屈指の実力を持つ硬式野球部の部員から、練習中の隙間時間の有効活用や技術的なアドバイスなど、野球への向き合い方を含めた、上達するためのヒントを得ました。

参加した白沢ベアーズの石角春琉主将（煙山小6年）は「基礎練習をしっかりと続けることが大切だと学んだ。春からはリトルシニアチームに入団する予定なので、教わったことを大事に練習していきたい」、西徳田ブルーウィングスの齊藤煌大主将（徳田小5年）は「分かりやすく指導してもらえた。目標の県大会出場を目指して、きょう学んだことを生かしたい」と話しました。



人権擁護委員 熊谷さん・吉田さんが退任

昨年12月31日付けで人権擁護委員を退任した熊谷和浩さん、吉田芳英さん（写真左から）に対する感謝状贈呈式が1月23日、町役場で行われました。吉田さんは平成28年から、熊谷さんは令和5年からこれまで、地域の皆さんの人権を守るために各種相談や調査・救済活動、人権啓発活動に取り組みました。



町郷土芸能大会 町内外の6団体が出演

町郷土芸能大会が1月25日、田園ホールで行われました。徳丹獅子踊、高田さんさ踊（写真）、白沢神楽、下赤林芸能、矢巾町民謡の各保存会の出演に加え、星山神楽保存会（紫波町）が客演。各団体が地域の伝統を堂々と披露し、来場した約300人の観客を魅了しました。

友だち紹介

煙山保育園【3歳児】



このひかりちゃん やまもとかのちゃん わかさあかりちゃん なとり そうしくん かしわだかりんちゃん はっとりひかりちゃん



ラジオ体操応援ポケモン ルカリオ 不動小で児童たちへ出張授業

ラジオ体操出張授業が1月23日、不動小で行われました。児童約150人が参加。体操講師の鈴木大輔さん、アシスタントの舘野怜奈さん、ラジオ体操応援ポケモン「ルカリオ」(左写真右)と約1時間、一緒に体操を楽しみました。

児童らはステージ上の講師やルカリオの動きにならいつながら、準備運動やラジオ体操第一に取り組みました。正しい動きを学べる指導も行われ、ラジオ体操は体に良い動きが詰め込ま

れた体操であること、正しく体を動かすことが体操の効果を高めることなどを学びました。

この取り組みは(株)かんぽ生命、NPO法人全国ラジオ体操連盟がラジオ体操の普及と、体操を通じた子どもの健全育成などを目的に全国の小学校で進めているもの。例年、全国小学校ラジオ体操コンクールの応募があった中から抽選で全国10校を訪問しています。



規則正しい生活が秘けつ 黒田サカエさんが100歳

町内の介護老人福祉施設に入所する黒田サカエさんが12月28日、100歳の誕生日を迎えました。1月23日、高橋町長が施設を訪問し、黒田さんに祝い状と花束を贈呈しました。

黒田さんは大正14年生まれで岩泉町の出身。子4人、孫8人、ひ孫10人に恵まれました。海産物、特にウニが好物。規則正しい生活が長生きの秘けつです。



「いつの間にかこんな歳に」 高橋景子さんが100歳

太田の高橋景子さんが2月11日、100歳の誕生日を迎えました。同16日、入所先の介護老人保健施設を高橋町長が訪問。祝い状と花束を贈り長寿を祝いました。高橋さんは大正15年生まれ。子3人、孫8人、ひ孫15人に恵まれました。「いつの間にか、こんな歳になりました。わざわざ町長さんもいらしてください、本当にありがとうございます」と感謝を述べました。

友だち紹介

北高田こども園【3歳児】



ささき しゅうなくん



あんどう ひろとくん



ささき よりちゃん



こん はるるちゃん



たやま ちはやくん



ふじわら ひろくん